

有明の丘研修、地域研修の座学(オンライン)コンテンツの充実

■ 有明の丘研修

【令和3年度以降】(オンラインの特性を生かして)、必要に応じて、

① 社会情勢やニーズを踏まえた単元の設定、

② 受講者の職位に応じた単元の複線化を進める。

【中長期】受講者数の拡大、コースの改編等を検討する。

① 社会情勢やニーズを踏まえた単元の設定

＜内容の充実の検討例＞

・時間の制約によりこれまで十分な講義ができていなかった内容

例) 罹災証明発行、医療救護、緊急輸送 等

・受講者のニーズが高い内容

例) 住民避難、要配慮者問題、通信手段の確保 等

・社会情勢を踏まえた内容

例) 地区防災計画、個別避難計画、男女共同参画 等

②受講者の職位に応じた単元の複線化

- ・コースの単元のうち、職位*)の区別が必要な単元はどれか検討する。

*)職位:幹部級(本部運営の中核的役割を担う職員)

課長級(個別課題に対して課題を解決する職員)

係員級(個別課題に対応に専門的に従事する職員)

- ・区別可能な単元の場合、どのように区別できるか検討する。

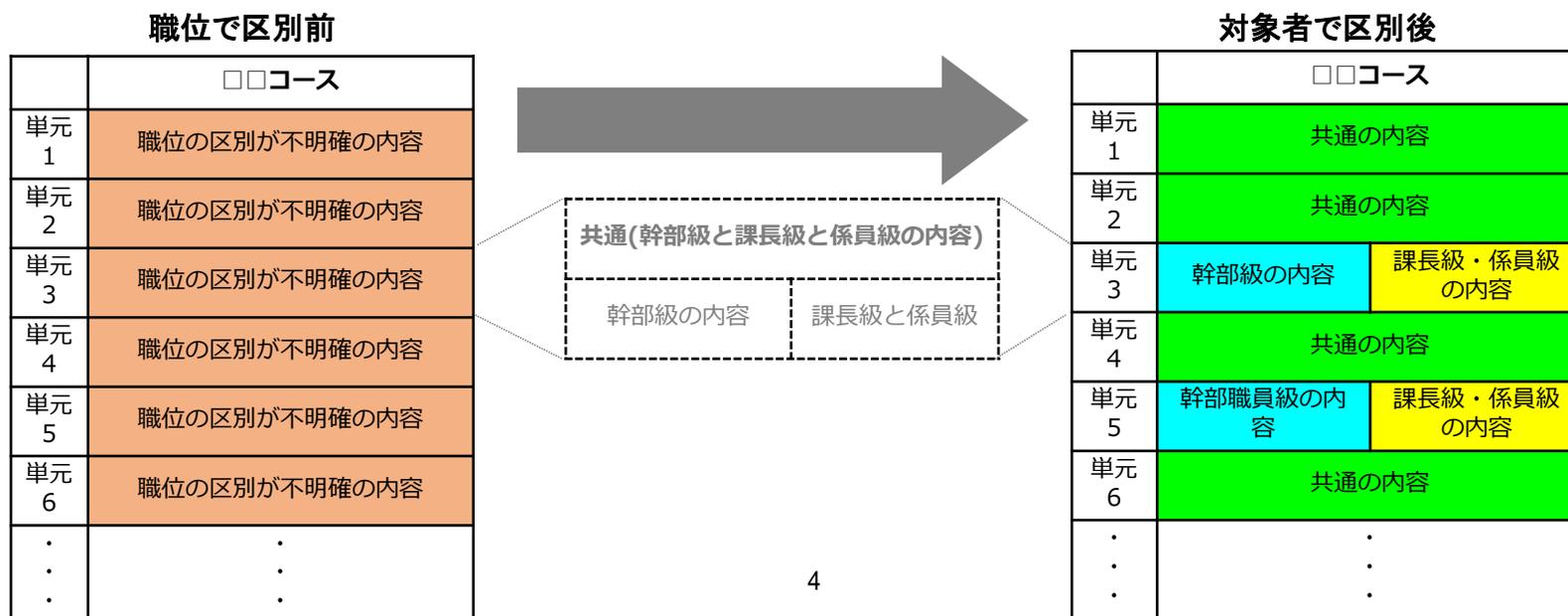
区別例)「幹部級」として1つに区別

「幹部級」と「課長級・係員級」の2つに区別

「幹部級・課長級」と「係員級」の2つに区別

「幹部級」と「課長級」と「係員級」の3つに区別

コース内の単元の内容を職位で区別するイメージ



■ 地域研修

【令和3年度以降】 各地域共通の基礎編に加えて、地域のニーズに応じた応用編を作成する。
【中長期】 有明の丘研修やeラーニングと連携する。

令和3年度 地域研修の実施内容

令和3年度の基本カリキュラム(オンライン研修用)

:調整単元
 :基本単元
 :追加単元

実施方法	単元	手法
オンデマンド講義(1ヶ月程度)	防災行政概要	座
	災害法体系	座
	防災計画	座
	地域の災害特性	座
	警報避難の枠組み	座
	被災者支援の枠組み(A) (災害救助法と仮設住宅)	座
	被災者支援の枠組み(B) (避難生活支援)	座
	被災者支援の枠組み(C) (生活再建支援)	座
	(追加単元)	座
対面での演習/ リアルタイム演習 (半日程度)	災害対応過程と 態度を学ぶ	演
	災害対策本部における対応	演
	全体討論 (ふりかえり)	演

基本カリキュラム

地域の希望により追加

基本カリキュラム

●各地域共通の基本カリキュラムを通じて、基礎的な内容を学ぶ。

●新しいニーズがあればニーズの取り込みを検討する。

今年度作成した下記の単元のなかに新しいニーズに該当するものがあれば、各地域の希望によりオンデマンド講義に追加できるものとする。

- ・ 地区防災計画
- ・ 災害応急対策
- ・ 物資調達
- ・ ISUT(災害時情報集約支援チーム)
- ・ 災害ボランティア
- ・ 復旧・復興対策
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策に配慮した避難所運営のポイント 等

